

迎春



箱根町議会議長
沖津 弘幸

明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、希望あふれる輝かしい新年を迎えられましたことと心よりお喜び申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表いたしまして謹んで新春のご挨拶を申し上げます。日頃より、町政並びに町議会に對しまして、皆さまの温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。



箱根町長
山口 昇士

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、町行政に対し温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は大涌谷の火山活動の影響も落ち着きを見せ、新たな宿泊施設等のオープンが続いたこと

もあり、年間を通して多くのお客様にお越しいただきました。中でも外国人のお客様は町内で見かけない場所はないというくらい、日を追うごとに増加している実感があります。観光市場環境は急速に変化しており、その中で国際観光地として持続的に発展していくために、行動指針となる第2次箱根町HOTO21観光プラン基本計画の策定を進めているところです。4月より設立される箱根版DMOと観光行政との効果的な連携の構築と官民協働体制を強化し、計画を推進してまいります。

さて、我が国の人口は2008年をピークに減少し始め、少子化、核家族化が急速に進行したことにより、福祉や地域社会そのものの在り方が問われております。人口減少、少子高齢化は全国的な傾向であり、一地方自治体のみで解決できる課題ではありませんが、「子育てするなら箱根町」をスローガンに、更なる少子化対策として、昨年4月からは第2子以降の認定こども園、幼稚園、保育所保育料の無料化をスタートいたしました。また、保護者が安心して子育てと仕事を両立できるような環境を目標として整備を進めてまいりました宮城野保育園の新

園舎も完成しました。箱根で生まれた子どもたちが箱根の自然の中で育ち、箱根を愛し、箱根の将来を担ってゆくことを願っております。さらには、大平台地区で町民の方々が主体となった共助の取り組みも始まり、宮城野地域でも民間施設による買い物支援活動がスタートしたとうかがっています。こうした相互の助け合いはこれからの人口減少時代においても地域が活力を維持するために必要不可欠であり、これからの活動に大いに期待しているところであります。

迎える平成30年度は、平成28年度から皆さまにお願いしている固定資産税の超過課税が3年間の時限を迎えます。第6次総合計画に掲げる「やすらぎとおもてなしのあふれる町」の実現を目指して確実に各施策を展開していくことができるように、持続可能な財政運営を心がけ財源の課題に取り組んでまいります。結びとなりますが、本年が素晴らしい年となりますよう、皆さまのご多幸とご健勝を心から祈念いたしまして新年のあいさつといたします。

町議会では、議会運営における最高規範である箱根町議会基本条例のもと、町民に開かれ、信頼される議会、町民参加を推進する議会を目指し、議会改革に取り組んでおります。昨年は、早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度ランキングにおきまして、全国1347議会のうち21位という結果をいただくことができましたことから、議会改革に関する視察として、多くの方に箱根を訪れていただくことができました。今後も、基本理念である「町民に最も頼りにされる議会」の実現に向けて積極的に取り組むことにより、多くの方に視察に来ていただくことで、町の観光振興に少しでも寄与できればと考えております。

行財政改革の着実な推進により、財政状況の改善を図りながらも限られた資源の中で町が直面する課題への対応に積極的に取り組んでいくこととしております。議会といたしましても、町民の代表である役割と責任をしっかりと自覚し、町民皆さまの声に耳を傾けながら「オール箱根」の精神で取り組んでいきたいと考えております。

さて、昨年からスタートした「第6次総合計画」では、町の将来像を「やすらぎとおもてなしのあふれる町」箱根とし、

本年も引き続き、皆さまのご期待に応えるよう全力を尽くしてまいりますので、本年も議会に對し変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、皆さまにとりまして、夢と希望に満ちた素晴らしい年となりますことを、心から祈念申し上げます。挨拶といたします。

